

米中首脳会談の成果

- 1) 信頼構築、何よりも「絵」を中国国内に提供。
- 2) トランプ大統領の年内訪中。
- 3) 米中包括対話: The US-China Comprehensive Dialogue
 - 外交・安保対話 ・包括経済対話 ・法執行・サイバー対話
 - 社会・文化対話 (それぞれ長官、大臣レベル)
- 4) 各論
 - * 経済貿易面: アメリカの雇用状況に影響を与える中国経済の状況への問題提起。貿易不均衡是正のための百日計画(7月まで。戦略対話同様に7月に会議、そして9月に首脳会談?)。

米中首脳会談の成果

- *北朝鮮:
 - 1)朝鮮半島の非核化、安保理決議の履行などといった原則確認。
 - 2)「三つの堅持(半島非核化、安定の維持、対話による解決)」、「並行交渉(非核化+ 和平協定)」、「ダブル・フリーズ(核・ミサイル開発+米韓軍事演習)」という考え方の提案。
 - 3)中国に積極的関与を求める。単独行動辞さず。
 - 4)中国はTHAADに明確に反対表明。

米中関係への展望

- *オバマ政権下の対中政策
 - 1) G2論から新型大国間関係
 - 2) リバランス政策の意味: 安全保障+TPP
 - 3) 南シナ海の航行の自由作戦と中国の認識
- *トランプ政権
 - 1) オバマ政権のもたらした圧力は低下
 - 2) しかし、新たなリスクが到来

米中首脳会談の成果

- * 一带一路
 - 1) 中国側から、アメリカの参加を呼びかけ。
- * 海上安全保障
 - 1) アメリカ側は国際規範を強調、また習近平自身がかつて言った軍事化しないとの約束の順守を求める。
 - 2) 習近平主席は中国の立場を強調。
- * 一つの中国政策堅持

経済枠組みへの展望

- 1) TPPの頓挫は基本的に朗報
- 2) RCEPは進めるが、急ぐ必要なし。ただし、ASEANは年内妥結目指す。
 - インドは自由化度を下げたい。日本はレベルを上げたい。
- 3) 日中韓FTA交渉再開へ。
- 4) 日欧、日米FTAは新たな問題点